



ニッセイ米ドル建て短期ハイ・イールド債券ファンド

通貨プレミアムコース／為替ヘッジありコース／為替ヘッジなしコース

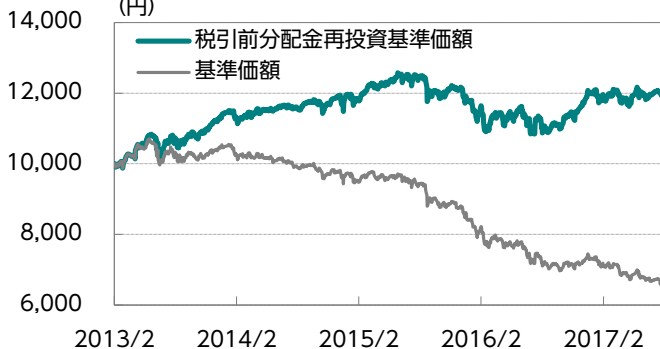
運用状況と米ドル建て短期ハイ・イールド債券のポイント

- 米ドル建て短期ハイ・イールド債券は、米国国債や米ドル建て投資適格社債に比べて利回りが高く、パフォーマンスは堅調に推移してきた。
- 短期債券に限定して投資することにより、リスクの低減が期待できる。
- これまで、米ドル建て短期ハイ・イールド債券は、金融緩和局面、金融引締め局面ともに良好なパフォーマンスを示してきた。

運用状況：基準価額と分配(1万口当り、税引前)の推移

通貨プレミアムコース

(円)

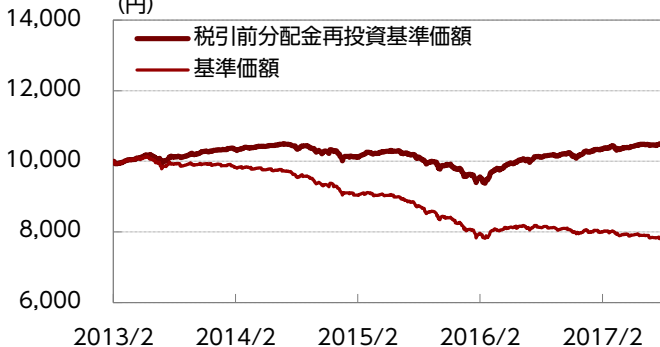


決算	2016年				2017年	
	9月	10月	11月	12月	1月	2月
分配金	100円	100円	100円	100円	100円	100円

決算	2017年					設定来累計額
	3月	4月	5月	6月	7月	
分配金	100円	100円	100円	100円	100円	5,200円

為替ヘッジありコース

(円)



決算	2016年				2017年	
	9月	10月	11月	12月	1月	2月
分配金	50円	50円	50円	50円	50円	50円

決算	2017年					設定来累計額
	3月	4月	5月	6月	7月	
分配金	50円	50円	50円	50円	50円	2,600円

為替ヘッジなしコース

(円)



決算	2016年				2017年	
	9月	10月	11月	12月	1月	2月
分配金	50円	50円	50円	50円	50円	50円

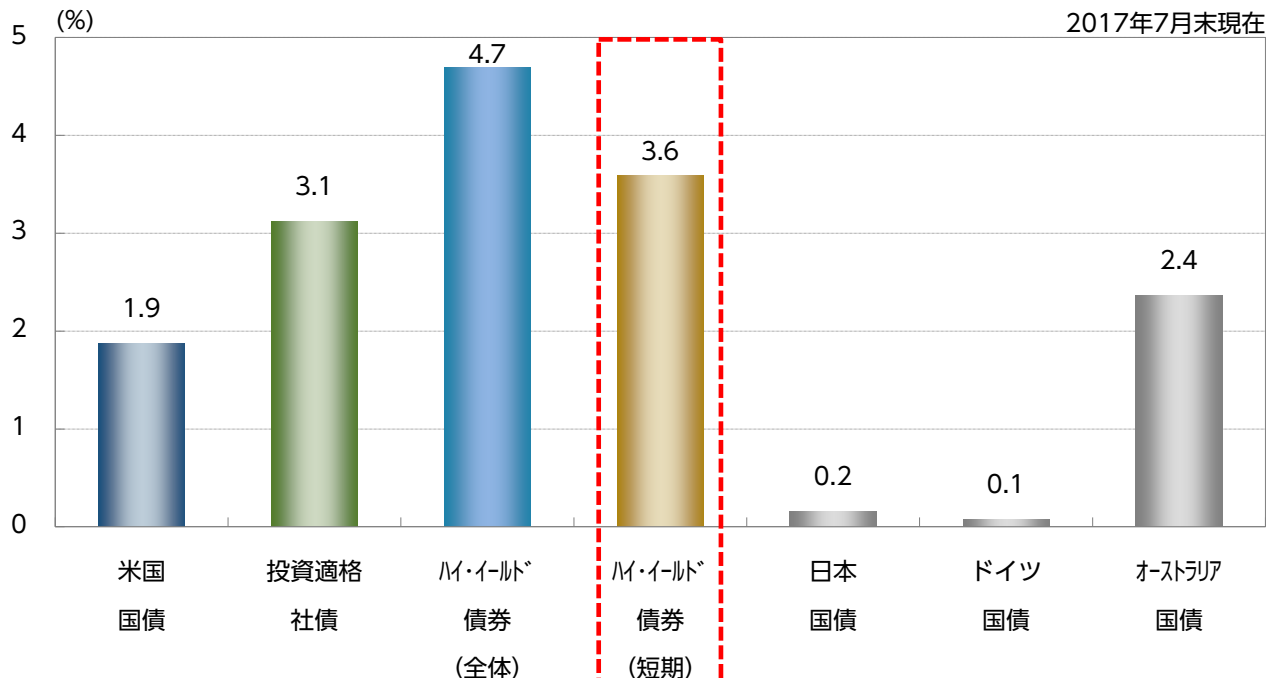
決算	2017年					設定来累計額
	3月	4月	5月	6月	7月	
分配金	50円	50円	50円	50円	50円	2,000円

データ期間は、通貨プレミアムコース・為替ヘッジありコース：2013年2月1日＜設定日＞～2017年7月31日(日次)、為替ヘッジなしコース：2013年12月18日＜設定日＞～2017年7月31日(日次)。分配金の設定来累計額は2017年7月31日現在。上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。税引前分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を再投資したものとして計算しております。運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。分配金は信託財産から支払いますので、基準価額が下がる要因となります。収益分配金には普通分配金に対して所得税および地方税がかかります(個人受益者の場合)。

米ドル建て短期ハイ・イールド債券の利回りとパフォーマンス

米ドル建て短期ハイ・イールド債券は、米国国債や米ドル建て投資適格社債よりも利回りが高く、パフォーマンスは他の米ドル建て債券と比較して堅調に推移してきました。

<米ドル建て債券の利回り比較>



出所)ブルームバーグ・バークレイズ・インデックスのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

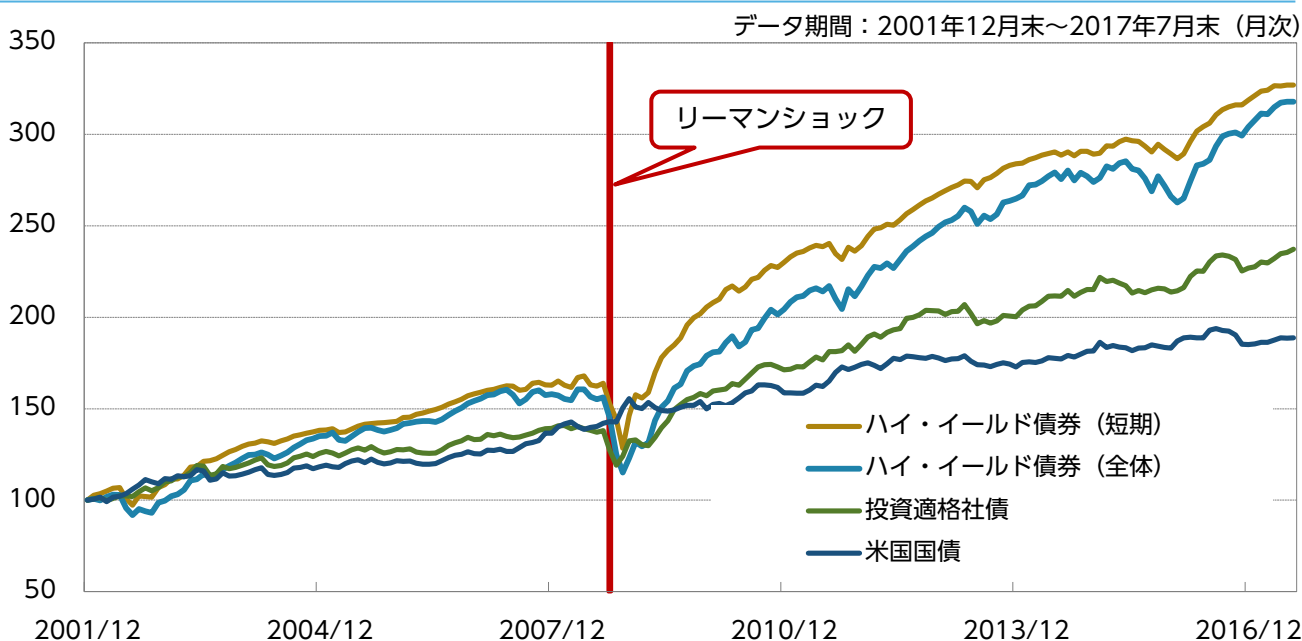
各国国債：ブルームバーグ・バークレイズ・各国国債インデックス

投資適格社債：ブルームバーグ・バークレイズ・US・コーポレート・インデックス

ハイ・イールド債券(全体)：ブルームバーグ・バークレイズ・US・ハイ・イールドのBB格とB格を各50%で合成

ハイ・イールド債券(短期)：ブルームバーグ・バークレイズ・US・ハイ・イールド(残存年数1-3年)のBB格とB格を各50%で合成

<米ドル建て債券のパフォーマンスの推移(米ドルベース)>



出所)ブルームバーグ・バークレイズ・インデックスのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

米国国債：ブルームバーグ・バークレイズ・米国国債インデックス

投資適格社債：バークレイズ・US・コーポレート・インデックス

ハイ・イールド債券(全体)：ブルームバーグ・バークレイズ・US・ハイ・イールドのBB格とB格を各50%で合成

ハイ・イールド債券(短期)：ブルームバーグ・バークレイズ・US・ハイ・イールド(残存年数1-3年)のBB格とB格を各50%で合成

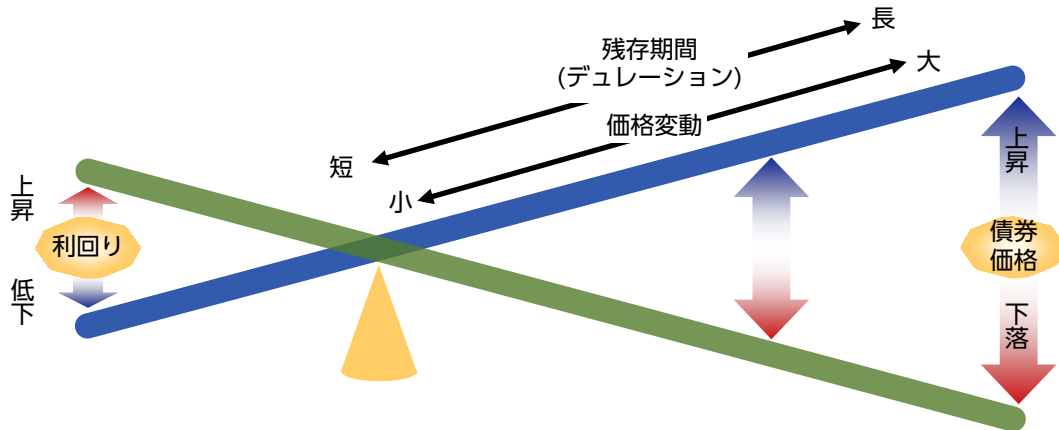
※2001年12月末を100として指数化

短期債券の価格変動リスクについて

一般的に債券の残存期間(デュレーション)が短いほど、利回りの変化に対する債券価格の変動が小さくなります。

米ドル建てハイ・イールド債券の中でも短期債券に限定して投資することにより、中長期を含めたハイ・イールド債券全体に投資した場合と比較してリスクの低減が期待できます。

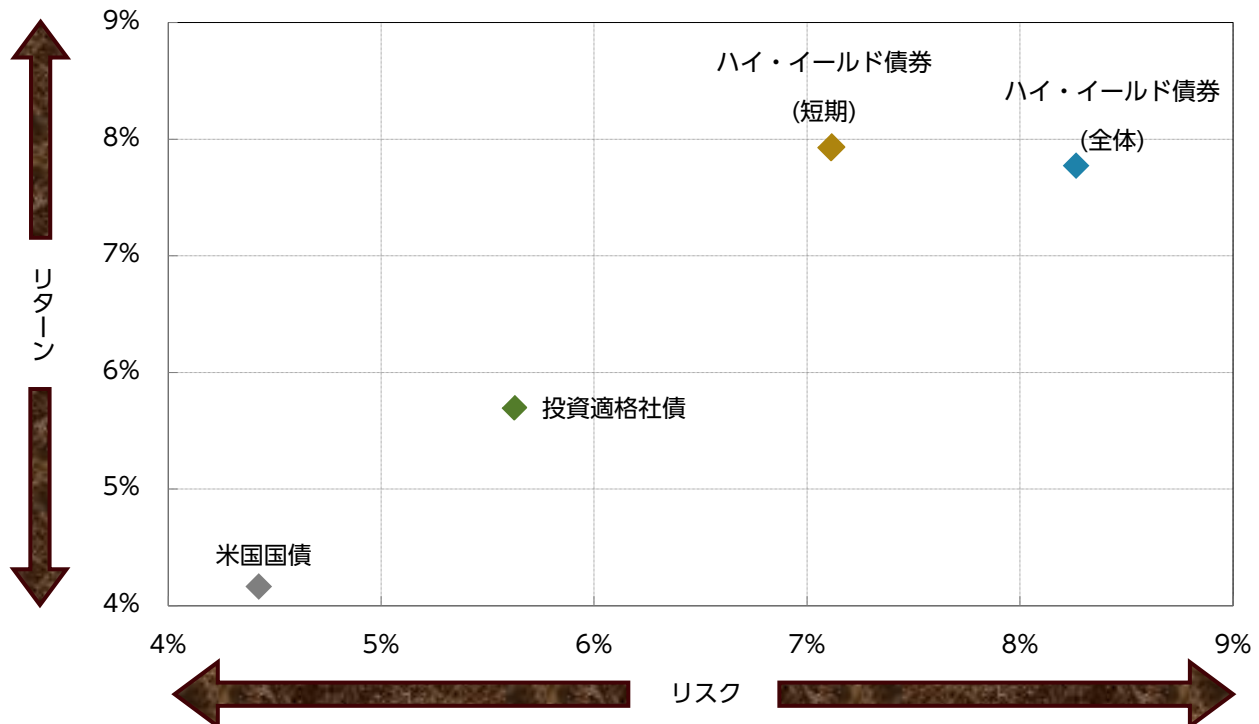
<債券の価格変動リスクの基本的な考え方>



- デュレーション1年の債券 : 利回り1%変動 → 債券価格が概ね1%変動
- デュレーション5年の債券 : 利回り1%変動 → 債券価格が概ね5%変動

※デュレーションとは、債券投資におけるリスク度合いを表す指標の一つで、金利変動に対する債券価格の反応の大きさ(リスクの大きさ)を表し、デュレーションが長いほど債券価格の反応は大きくなります。

<米ドル建て債券のリスク・リターン水準の比較(米ドルベース・年率換算)>



出所)ブルームバーク・バークレイズ・インデックスのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

データ期間: 2001年12月末~2017年7月末(月次)

米国国債: ブルームバーク・バークレイズ・米国国債インデックス

投資適格社債: ブルームバーク・バークレイズ・US・コーポレート・インデックス

ハイ・イールド債券(全体): ブルームバーク・バークレイズ・US・ハイ・イールドのBB格とB格を各50%で合成

ハイ・イールド債券(短期): ブルームバーク・バークレイズ・US・ハイ・イールド(残存年数1-3年)のBB格とB格を各50%で合成

ファンドの特色

- ①米ドル建ての短期ハイ・イールド債券を実質的な主要投資対象とし、金利収入の確保と信託財産の中長期的な成長をめざします。
 - ②「通貨プレミアムコース」、「為替ヘッジありコース」、「為替ヘッジなしコース」の3つのコースから選択いただけます。
 - ③原則として、毎月20日(休業日の場合は翌営業日)の決算時に収益分配を行います。
- ※分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。
- ※将来の分配金の支払いおよび水準について、保証するものではありません。

投資リスク

※ご購入に際しては、投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分にお読みください。

基準価額の変動要因

- ファンド(指定投資信託証券を含みます)は、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本を割込むことがあります。
- ファンドは、預貯金とは異なり、投資元本および利回りの保証はありません。運用成果(損益)はすべて投資者の皆様のものとなりますので、ファンドのリスクを十分にご認識ください。

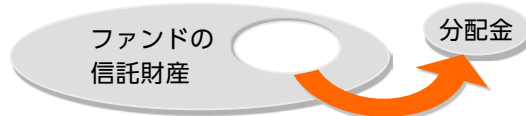
主な変動要因

債券投資 リスク	金利変動 リスク	金利は、景気や経済の状況等の影響を受け変動し、それにともない債券価格も変動します。一般に金利が上昇した場合には、債券の価格が下落します。
	信用 リスク	債券の発行体が財政難・経営不振、資金繰り悪化等に陥り、債券の利息や償還金をあらかじめ定められた条件で支払うことができなくなる場合(債務不履行)、またはそれが予想される場合、債券の価格が下落することがあります。
カバードコール戦略に ともなうリスク		〈通貨プレミアムコース〉 ファンドは実質的に米ドル建ての短期ハイ・イールド債券への投資に加え、米ドル(対円)のコール・オプションを売却するカバードコール戦略を活用します。このため、以下のリスクがあります。 米ドル(対円)のコール・オプションを売却するため、円に対する米ドルの為替レートが権利行使価格を超え上昇した場合、為替レートの上昇による為替差益の一部を得られない場合があります。また、対円での米ドルの変動率(ボラティリティ)が上昇した場合などには、コール・オプションの評価値が上昇して損失を被り、ファンドの資産価値が減少する要因となることがあります。 カバードコール戦略において特定の権利行使期間で米ドル安・円高となった場合、再度カバードコール戦略を構築した際の円安・米ドル高による値上がり益は戦略構築日に設定される権利行使価格までの値上がり益に限定されますので、その後、為替レートが当初の水準まで回復しても、ファンドの資産価値の回復状況が緩やかになることがあります。 換金にともないカバードコール戦略を解消する際には、市場動向や市場規模等によっては解消にともなくコストが発生し、ファンドの資産価値が減少する要因となることがあります。
為替変動 リスク		〈通貨プレミアムコース／為替ヘッジなしコース〉 外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行わないため、為替変動の影響を直接的に受けます。一般に円高局面ではファンドの資産価値が減少します。 〈為替ヘッジありコース〉 外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替ヘッジを完全に行うことができないとは限らないため、外貨の為替変動の影響を受ける場合があります。また、円の金利が為替ヘッジを行う当該外貨の金利より低い場合などには、ヘッジコストが発生することがあります。
カントリー リスク		外国の資産に投資するため、各国の政治・経済情勢、外国為替規制、資本規制等による影響を受け、ファンドの資産価値が減少する可能性があります。
流動性 リスク		市場規模が小さいまたは取引量が少ない場合、市場実勢から予期される時期または価格で取引が行えず、損失を被る可能性があります。

分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの信託財産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

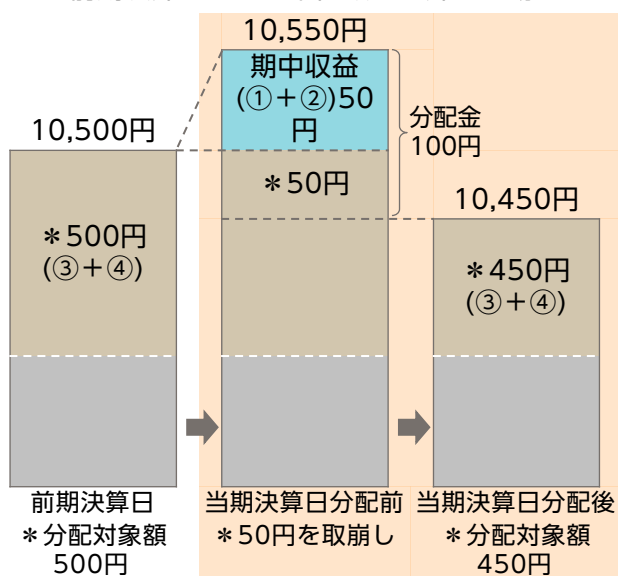
ファンドで分配金が支払われるイメージ



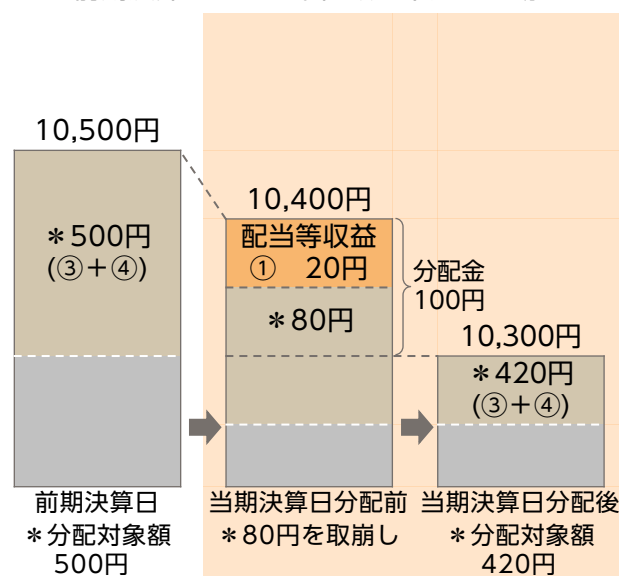
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



前期決算日から基準価額が下落した場合



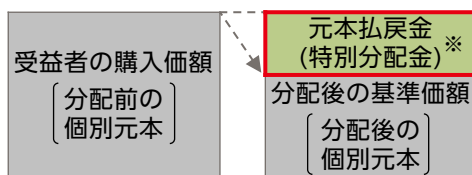
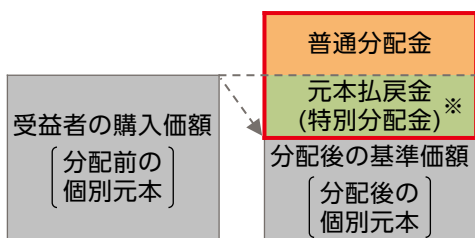
- 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、収益分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。
- 分配準備積立金：期中収益(①および②)のうち、当期の分配金として支払われず信託財産に留保された金額をいい、次期以降の分配金の支払いにあてることができます。
- 収益調整金：追加型株式投資信託において追加設定が行われることによって、既存の受益者の分配対象額が減らないようにするために設けられた勘定です。

❗ 上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

- 受益者のファンドの購入価額によっては、支払われる分配金の一部または全部が実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりの方が小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※実質的に元本の一部払戻しに相当する元本払戻金(特別分配金)が支払われると、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

普通分配金：個別元本(受益者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金)：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

- 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用			
購入時	購入時手数料 (1万口当り)	購入申込受付日の翌営業日の基準価額に 3.24%(税抜3.0%)を上限 として販売会社が独自に定める率をかけた額とします。 ※料率は変更となる場合があります。詳しくは販売会社にお問合せください。	
換金時	信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に 0.3% をかけた額とします。	
投資者が信託財産で間接的に負担する費用			
毎 日	運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年率1.2204%(税抜1.13%)をかけた額とし、ファンドからご負担いただきます。	
		投資対象とする 外国投資 信託証券	・通貨プレミアムコース：年率0.80%程度 ・為替ヘッジありコース/ 為替ヘッジなしコース：年率0.60%程度
		実質的な 負担	ファンドの純資産総額に以下の料率をかけた額となります。 ・通貨プレミアムコース： 年率2.0204%(税込)程度 ・為替ヘッジありコース/ 為替ヘッジなしコース： 年率1.8204%(税込)程度
	監査費用	ファンドの純資産総額に年率0.0108%(税抜0.01%)をかけた額を上限とし、ファンドからご負担いただきます。	
随 時	その他の費用・ 手数料	組入有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用および借入金の利息等はファンドからご負担いただきます。これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を記載することはできません。	

❗ 当該費用の合計額、その上限額および計算方法は、運用状況および受益者の保有期間等により異なるため、事前に記載することはできません。

❗ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

【当資料において使用している指数についての説明】

ブルームバーグ・パークレイズ各種インデックスはブルームバーグが公表しているインデックスです。ブルームバーグは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標およびサービスマークです。パークレイズは、ライセンスに基づき使用されているパークレイズ・バンク・ピーエルの商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社（以下「ブルームバーグ」と総称します）またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・パークレイズ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。

ご留意いただきたい事項

- 投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動し、運用成果(損益)はすべて投資者の皆様のもthingとなります。投資元本および利回りが保証された商品ではありません。
- 当ファンドの投資対象である外国投資信託証券において、多額の換金申込み等に際して制約が設けられることがあります。この場合、当ファンドにおいても換金に制約を設けることがあります。
- 当資料はニッセイアセットマネジメントが作成したものです。ご購入に際しては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等(目論見書補完書面を含む)の内容を十分にお読みになり、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は保険契約や金融機関の預金ではなく、保険契約者保護機構、預金保険の対象とはなりません。証券会社以外の金融機関で購入された投資信託は、投資者保護基金の支払対象にはなりません。
- 当資料のいかなる内容も将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。また、資金動向、市況動向等によっては方針通りの運用ができない場合があります。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

取扱販売会社一覧

※ 販売会社は今後変更となる場合があります。また、販売会社によっては、新規のお申込みを停止している場合もあります。詳しくは、販売会社または委託会社の照会先までお問合せください。

取扱販売会社名	金融商品 取引業者	登録金融 機関	登録番号	日本証券業 協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業 協会
池田泉州ＴＴ証券株式会社	○		近畿財務局長(金商)第370号	○			
宇都宮証券株式会社(※1)	○		関東財務局長(金商)第32号	○			
株式会社ＳＢＩ証券	○		関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
キャピタル・パートナーズ証券株式会社(※2)	○		関東財務局長(金商)第62号	○			
高木証券株式会社	○		近畿財務局長(金商)第20号	○			
東海東京証券株式会社	○		東海財務局長(金商)第140号	○		○	○
西日本シティＴＴ証券株式会社	○		福岡財務支局長(金商)第75号	○			
三田証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第175号	○			
UBS証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第2633号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
ワイエム証券株式会社	○		中国財務局長(金商)第8号	○			
株式会社滋賀銀行(※2)		○	近畿財務局長(登金)第11号	○		○	

※1 「通貨プレミアムコース」、「為替ヘッジありコース」のみのお取扱いとなります。

※2 「通貨プレミアムコース」のみのお取扱いとなります。

委託会社【ファンドの運用の指図を行います】	ファンドに関するお問合せ先
ニッセイアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第369号 加入協会：一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会	ニッセイアセットマネジメント株式会社 コールセンター：0120-762-506 (午前9時～午後5時 土、日、祝祭日は除きます)
受託会社【ファンドの財産の保管および管理を行います】	ホームページ：https://www.nam.co.jp/
三菱UFJ信託銀行株式会社	